

教育DXレポート

足立学園中学校・高等学校(東京都)

ICT活用を「当たり前」にした
ICT環境整備と活用方法

今回は2023年11月に訪問した足立学園中学校・高等学校のICT活用についてご紹介します。

ICT環境整備の流れ

足立学園中学校・高等学校では、2015年からICTによる授業改革が始まりました。2016年には1人1台端末の導入を開始し、MicrosoftのOffice365の使用も始めました。2021年には全生徒1人1台環境が整備され、2023年には特別教室も含めた全教室にプロジェクター型の電子黒板が設置されました。

コロナ禍においてもICT環境が整っていたのでウェブカメラと延長コードを用意すればすぐにオンライン授業をすることができたそうです。各教科の先生がMicrosoftのStreamで授業動画を作って見て学べるようにするとともに、オンライン授業を配信しつつ、対面による授業を希望する生徒にはオフラインで同時に授業を実施するハイブリッド学習などの取り組みも行っていました。

授業やクラス・学校全体での活用

生徒のリュックにはいつも端末が入っており、授業内のグループディスカッションやプレゼンテーションなどで活用しています。クラスや学校内でのやり取りにはTeamsを活用し、授業の連絡や生徒同士、生徒と教師、教師同士のすべてのやり取りをTeams上で行うことができます。

初めは使うことを躊躇する先生もいましたが、使用する場面を徐々に増やしていくことで、今では教師も生徒も全員が使いこなすことができています。

各教科の授業内でも、プロジェクター型の黒板やタブレット端末、PowerPointをほとんどの先生が使いこなし、生徒たちもわからないことがあれば自分のタブレット端末やスマホを持ち出してすぐに調べる姿がみられました。

ICT活用を学校の「当たり前」に

足立学園のICT教育の特徴は、ICTを使用することが学校全体の「当たり前」になっている点です。先生たちも生徒たちも日々新しいツールを試し、良いものを取り入れていくとする姿勢が見られます。ICT活用が足立学園の「文化」とも言えるほど定着していました。

新しいものを導入する際には少なからず抵抗が起きますが、実務の中に少しずつ取り入れていくことで、ICTは「使うと楽になる」ものだということが実感でき、そのことで無理なく導入することができていました。

様々なツールに触れ、活用する中で、「自分で判断する力」や「自分に合うものを選ぶ力」も育てていきたい、また、教師自身も「常に新しい情報をキャッチし、生徒に伝えられるようにしたい」と話されていたことが印象的でした。

コアネットでは5月23日(木)と6月27日(木)に、足立学園中学校・高等学校の事例のように、ICT活用を推進し、学校のDX化を成功させるためのポイントをお伝えするオンラインセミナーを実施します。

学校事例やDXツールの紹介、学校のDX化を支援するサービスの紹介等、最新情報を盛り込んだ内容です。ぜひ、ご参加ください。お申込み方法など詳しくは裏面をご覧ください。

足立学園中学校・高等学校の取材記事の詳細はこちらに掲載しています→是非ご覧ください！

